



人の和を生み出す「話し合い活動」

「話し合い」とは「話す」と「聞く」が結びついたものです。「話す」ことは自己表現であり、「聞く」ことは他者理解です。「話し合い」を通して人と人が出会います。それは異質なものの存在を発見することで、他者と関わって自己の存在を確かにする事です。「話し合い」は、正に新しい関係を作り出し、その中で一人一人が自立することだといえます。

話し合いは、「人の和」を生み出す良い方法の一つです。話し合うことで連帯感やチームワークを高めることができます。本校では、2学期に様々な場面で話し合い活動を取り入れていきます。



2年生「2学期の係についての話し合い」



6年生「ほたるっ子発表会についての話し合い」

タブレットを活用して

4年生は国語科「新聞を作ろう」の学習で、アンケート調査を行う際に、タブレットを活用して「アンケートフォーム」を作成していました。

他の学年でも、様々な教科や活動で効果的にタブレットを活用しています。



「手のひら冷却法」で熱中症対策 ☀️ =特設陸上クラブの練習

=

特設陸上クラブが練習する放課後の時間帯「暑さ指数」は、この頃27前後です。こまめな休憩や水分・塩分補給に加え、冷却水等による手のひら冷却などの熱中症対策を行いながら練習に取り組んでいます。手のひらには体温を調整するAVA血管という特殊な血管があり、この血管を通る血液を冷やすことで冷えた血液が体内を巡り、身体の中心部の体温（深部体温）が下がります。



冷却水で手のひらを冷やす